

## 懇親会スピーチ

# 京都大学 数学教室 同窓会に参加して

佐古（田中）和恵  
昭和61年3月学部卒業

86年に学部を卒業した佐古（田中）和恵です。

当時は、数学の本を時間をかけて読むのは好きでしたが、周りの優秀な方に比べて数学的な素質がないと早々にあきらめて、NECに就職しました。

2017年の同窓会の講演で、三菱電機の松井さんが、「暗号には2種類ある。華やかだけど儲からない公開鍵暗号と、地味だけど事業貢献の大きい共通鍵暗号」と言われ、松井さんの共通鍵暗号の研究が紹介されました。私はNECに入社以来、儲からないと言われた公開鍵暗号の研究を30年以上、続けてきました。これまでは、実際につかってもらえる場面が限られていた公開鍵暗号ですが、近年、ビットコインやブロックチェーンで楕円曲線暗号や様々な暗号プロトコルが活用されており、大きな注目を集めています。これでやっと公開鍵暗号の時代が来たと言えるのではないかと、わくわくしています。



懇親会にて

卒業時には落ちこぼれだった私ですが、2017年にご縁があって、日本応用数理学会の会長に就任させていただくことになりました。日本の高い数学の力を、日本のものづくりやサービス設計、セキュリティ設計に応用して、日本産業の発展の礎にしたいと思っています。そのために、日本応用数理学会の賛助会員となる企業の皆様を盛大に募集しています。年会費4万円で応用数理の生きた情報に触れる機会が得られますので、ホームページ [jsiam.org](http://jsiam.org) をご覧になって、是非、申し込みいただけますよう、お待ちしております。日本応用数理学会は、日本数学会とともに、国際応用数理学会 (ICIAM, International Council for Industrial and Applied Mathematics) に加

盟しています。ICIAMでは、オリンピックのように4年に一度、盛大な世界大会を開催しています。2017年5月に韓国に勝って、この大会を2023年に初めて日本で開催することが決まりました。2023年の8月には数千人規模の数学者、応用数理の研究者が東京に集まることになります。その時に、わくわくするような成果が提供できるよう、そして、日本の若い研究者が第一線の研究者と交流できるよう、今から準備をすすめているところです。是非、皆様にも力強くご支援いただければと思っております。